

依存症と"私"の回復

～回復に取り組む中で得た経験～

ギャンブル依存症は「病的賭博」といわれWHO(世界保健機関)で正式に認められた「病気」です。また、この病気は回復し続けることができる病気です。この度、ギャンブル依存症当事者であり、現在は自らの回復に取り組みながら当事者支援に取り組んでおられる中島康晴氏をお迎えしてその体験をお聞きます。

後半は別室で当事者会を行いますので、ぜひ当事者の方もお越しください。

【講師紹介】

中島康晴氏

(公社)ギャンブル依存症問題を考える会 当事者支援部

ASK認定 依存症予防教育アドバイザー

ギャンブル依存症の当事者で引きこもり経験者。

回復施設に入所し『回復の12ステッププログラム』を

学ぶ。自立・社会復帰を果たし、回復に取り組みながらメッセージ活動を行っている。

『ギャンブル依存症当事者の会【京都】』を主催。



2022

03.06(日)

場所

あすてっぶKOBEセミナー室1
神戸市中央区楠通3丁目4-3
男女共同参画センター

参加費

一人1000円

予約

不要

連絡先

080-6109-7670(おくだ)
kazokunokai.hyogo@gmail.com

14:00～15:00 講演
15:30～16:30 家族会・当事者会

【コロナ感染拡大防止のためお願い】
検温・マスクの着用・手指消毒を
お願いいたします。

全国ギャンブル依存症家族の会兵庫 主催



NPO法人全国ギャンブル依存症家族の会
〒162-0805 東京都新宿区矢木町131番地
TEL 090-1404-3327 <http://www.gdfam.org/>



(2022.02)